



in vitroで人工消化試験をしませんか？

消化酵素を用いて「乾物（DM）消化率」、「たん白質（CP）消化率」、「可消化エネルギー（DE）」等の人工消化試験を行っています。お気軽にご相談ください。

飼料の栄養価を評価するには、動物を用いた消化試験は欠かせません。

しかし、ペレット成型する際の最適温度を調べたり、賦形剤を検討したり、その都度、動物を用いて消化分解性を調べるのは、時間やコストが掛かり大変。

そこで、動物での消化試験の前に、人工消化試験をスクリーニングに採用しませんか？

学会や雑誌で、様々な消化酵素を用いた人工消化試験が紹介されています。

繊維分解酵素

セルラーゼ、キシラナーゼ

たん白質分解酵素
飼料分析基準(ペプシン消化率)

ペプシン

細胞壁分解酵素

アラバナナーゼ、セルラーゼ、β-グルルカーナーゼ、ヘミセルラーゼ、およびキシラナーゼを含め広範囲なカルボヒドラーゼを含む多酵素複合体

ブタすい臓由来酵素製剤

トリプシン、キモトリプシン、リパーゼ、アミラーゼなどを含む酵素製剤

詳しくは、ホームページ (<http://www.kashikyo.or.jp/>) または、科学飼料研究センターまでご相談ください。

<h2>JSFA 一般社団法人日本科学飼料協会</h2> <p>科学飼料研究センター</p> <p>〒286-0133 千葉県成田市吉倉821 TEL 0476-35-0411 FAX 0476-35-0557</p> <p>ホームページ : http://www.kashikyo.or.jp</p>	<div style="text-align: right;"> <input type="text" value="科学飼料協会"/> <input type="button" value="検索"/> </div> <p>本部 技術部</p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 TEL 03-3297-5631 FAX 03-3297-5633</p> <p>E-メール : info@kashikyo.lin.gr.jp</p>
---	---

科学飼料研究センターでは、お客様のニーズにお応えした飼料・飼料添加物および動物用医薬品等に関するさまざまな動物試験および飼料の品質管理や安全性等に関する分析試験を行っています。